



## 思い起こすこと

羽賀 祥二（日本史学）

もう今は聞かなくなりましたが、しばらく前まで、「今まで生きてきた中で、もっとも重大な出来事は何でしたか」と、学生さんに聞いていた時期がありました。多くの答えは大学へ入学できたことだというものでした。私の質問の仕方が良くなかったのですが、私が聞いたかったのは自分と社会との関わりの中でもっとも記憶に残ったのは何かということでした。この文章を読んで下さる皆さんはどうでしょうか。

私自身が歴史や社会に関心を持ちはじめたのが、いつ頃のことだったのでしょうか。思い返しても確とした記憶があるわけではありません。しかし、私が小学校 6 年生の時、1963 年のことですが、アメリカ大統領ケネディが暗殺された報道は、いまでもそれを聞いた当時の情景とともにはっきりとした記憶として残っています。次の年からアメリカによるベトナムへの軍事的介入が本格化しますが、私の 10 代後半の時代の記憶にも B52 爆撃機の北爆や南ベトナム解放民族戦線によるテト攻勢など、折に触れて大きく報道される事件の様子は心に残っています。

沖縄へ調査や家族旅行で行くたびに、かならず太平洋戦争の最後の激戦地、摩文仁の丘を訪れます。そこには昨年亡くなられた元沖縄県知事太田昌秀さんが努力し、建立された「平和の礎」という戦死者慰霊碑群があります。慰霊碑に刻まれた 20 数万人の犠牲者の名前を見ると、戦争と人間ということについて思いがめぐります。ちょうど私の両親の世代が戦争を 20 歳前後で体験した世代にあたります。私の父も特攻隊の予備軍で、かろうじて生き残りました。そうしたこともあって、戦前の日本の戦争がどのようにして続いてきたのかが、私の研究の出発点にありました。

私と皆さんではほぼ半世紀もの時間差があります。私の 10 代の時といま皆さんが過ごしている時代とは、まったく様相が一変しました。これからの時代がどうなるのか、私には予想すらできませんが、社会への関心を失うことなく、皆さん自身が志を立て、そしてそれが実現されるよう努力して下さい。



分野・専門紹介—File19

## 心理学研究室の紹介

分野・専門名：心理学

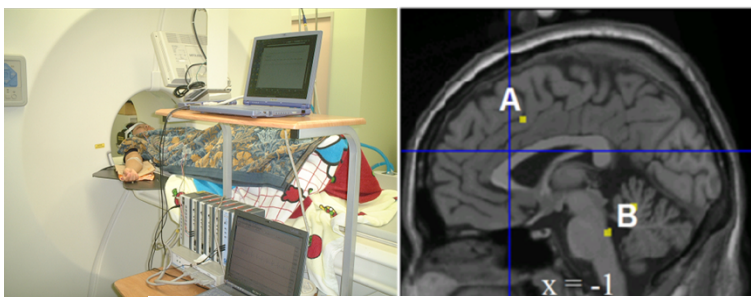
心理学研究室を構成する教員 4 名はそれぞれ、医学（2 人）、科学、理学の博士学位を持っています。文学や心理学の博士である教員が一人もない心理学研究室は、日本では名古屋大学だけでしょう。このことから分かるように、当研究室では科学的な論理と方法を用いた実験心理学の研究と教育を行っています。特に、人間や動物の行動や精神活動を創り出している脳神経系や身体のメカニズムに焦点を当てており、またそれらのメカニズムを数学的に表現してコンピュータでシミュレーションを行ったり実験データを解析したりする数理的な方法を重視します。当研究室では、全ての教員が、こうした神経科学や計算科学を共通

の基盤とした上で、感情、社会行動、学習、知覚などの心理学的な問題を探求しています。これは現在の実験心理学の潮流であり、心理学はいわば、文系と理系の狭間にある学問であると言えることができるでしょう。

名古屋大学文学部では2年生から専門に分かれ、それぞれの研究室に所属します。心理学に進

んだ学生さんは、実験を行うためのコンピュータ・プログラミングやデータを解析するための統計学を学ぶこととなります。実験はしばしば授業時間を越えて時間を要し、毎回のレポートも大変です。しかし、心配は要りません。必要な知識や技能は初歩から教育がなされますし、仮説を論理的に考えたり、実験を行って新しい事実を発見したりするのは楽しいものです。苦勞して身に付けた統計学の知識は、就職活動や職場で役立つこともきっとあるでしょう。人間や動物の営みに対する深い関心と、少しの根気と忍耐強さがあれば、心理学の面白さをきっと味わっていただけたと思います。

(大平 英樹・教授)



(神経画像法による脳機能の研究)

分野・専門紹介—File20

## ギリシア・ローマ神話の魅惑



分野・専門名：西洋古典学

西洋古典学研究室を紹介しましょう。西洋古典学とは、古代ギリシア文明と古代ローマ文明の遺産を研究する学問です。

この分野には美術や考古学もありますが、私たちの研究室が扱っているのは、かの文明の下で書かれた文学や語られた神話です。アキレウスの活躍する戦争物語やアエネアスがローマの礎を築いた物語などの叙事詩(例えば『イリアス』、『アエネイス』)、オイディプスやメデアの苦悩と解決などを描いた悲劇(『オイディプス王』、『メデア』)、政治・文化を風刺したり苦難の末のハッピーエンドを描く喜劇(『女の平和』、『辻裁判』)、民俗や政治的事件を叙述した歴史記述(ヘロドトスやタキトゥス)、文学的色彩の濃い哲学(『饗宴』、『スキピオの夢』)など、今も色褪せない骨太の作品が数え切れないほどあります。

ギリシア・ローマの文学の多くは神話を題材にしています。神話は、さまざまな作家によるさまざまなヴァージョンが競合しているのが通例で、作品という形を超えた次元でのストーリーがあります。そこには彼らの世界観や人生観の基本構造を見て取ることも少なくありません。それは、伝統的にキリスト教と並んで西洋人の考え方を規定してきたものだと言われています。

西洋古典学を専攻する学生はみな、ギリシア神話に魅せられた人たちです。彼・彼女たちは、基礎学習としてまずギリシア語とラテン語、および神話学を学びます。早い人は3年生から翻訳を見ながら原典を読み始め、4年生はみな原典購読の授業に出て卒論を書きます。それではもの足りないという人は大学院に進みます。

(画像はパンドラと魅惑の箱を描いたJ.W.ウォーターハウスの1896年の油絵)

(吉武 純夫・准教授)

最近の文学部

### あわただしい一年でした。

今年の名大文学部は教員も院生も授業も倍増し、にぎやかな出会いの年でした。厳しい寒さを経て、春の足音が聞こえる3月はさらに新たな出会いに先立つ別れの季節です。卒業して就職する人、進学する人、留学する人…そして今回コラムをご執筆いただいた羽賀先生のように、名大を去っていく教員も数名いるのです。(YK記)

\*本紙では、名大文学部の多彩な内容を順に紹介していきますが、それまで待てない人は...  
名大文学部のWEBサイト <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/> まで(『月刊名大文学部』のバックナンバーもあります)